

<p>●130 Stuart Russell 1)plausible siの[i]に注目して発音して見よう。</p> <p>at an event called Japan Weekを思い出してみ。スペルと音は違っていた。というより逆転してましたよね。</p>	<p>1)LLM1_3の音</p> <p>about a trillion チューニブル parametersと聞こえる箇所</p> <p>[イ]は[ア]で[ア]は[イ]とスペルすると考えると、答えがでるかもよ。</p>
<p>●129 The Future of Life Institute: Open Letter</p> <p>1)generative AI → [ei]それとも[曖昧母音のア]</p> <p>ジェネレイティブ 対 ジェネラティブ</p>	<p>1)講師は[曖昧母音]で発音してきましたが、[ei]もあるようです。しかも米語では[eɪ]と辞書にありました。</p> <p>ところが米国人のBさんに聞くと[曖昧母音]の方で発音し、[ei]は英国英語の方じゃない、と言っていました。ふーん。</p> <p>*見分け方：発音の「強弱強弱 ●●●●●」で見分ける ●●●●●</p> <p>(A)creativeは aに強●がくるので→[ei] (B)affirmativeは firに強●がくるので→[曖昧母音] (C)imaginativeは maに強●がくるが次の弱●はgiなのでnaの発音に二つのオプションができる 一つは強●[ei]、もう一つは弱●[曖昧母音]</p> <p>●●●●● ●●●●● イマジネイティブ 対 イマジナティブ</p>
<p>●128 The Future of Life Institute: Open Letter</p> <p>1)今週は音読でリエゾン練習をしよう We call on all AI labs to pause the training of AI systems. さて、どこをどうリエゾンする？ 最初は違和感満載で変な感じがするけど、まず、自分で練習してみて。</p>	<p>1)We コーロンノーレイアイ labs to pause the training of AI systems.</p> <p>口がスムーズに動くまで部分練習をして見ると、なーんかnaturalでいい感じになる。</p>
<p>●127 CNN Project</p> <p>1)India's 2021 センサー イズピン layed by the pandemic.</p> <p>こう聞こえた。ヒント：センサーは「国勢調査」</p>	<p>1)イズピンは例の[h]音脱落と考え、hasにするとピンはbeenとなる。進行形のis beingか現在完了has beenかは文脈で決定しましょう。</p> <p>*第2音節にストレスがある場合、その前の音が聞き取れないことが多いので、layedの箇所は「国勢調査が遅れた」と考えられるので、以下のような文が候補として出てくる。</p> <p>India's 2021 census has been delayed by the pandemic. *日本語では国勢調査が「遅れた」だから自動詞として使って：India's 2021 census has delayed...と言いたい。ところがGENIUSによると、自動詞の場合「人がわざとグズグズする」のような時に使う模様だ。</p> <p>*「人がわざとグズグズする」場合以外は、他動詞用法の「事が、人(事)を遅らせる」の方を使おう</p> <p>* The pandemic has delayed India's 2021 census. * India's 2021 census has been delayed by the pandemic.</p>
<p>●126 CNN1 ChatGPT</p> <p>1) The key is that whatever writes is original.</p> <p>こう聞こえた場合、この文のどこに「代名詞 it」入れたらいい？</p>	<p>1)Cooperのこの箇所のitは音としては聞こえませんが。</p> <p>「ChatGPTの書くものは何であろうと、GPTが自ら作成したものだ」という意味にして代名詞の itを挿入しましょう。</p>

<p>●125 CNN1 ChatGPT</p> <p>1) Joining us to discuss xxxx(occasion?) of this technology is Profesor Scott Galloway.</p>	<p>1)Anderson Cooperの高速英語(189語/分) で、実に聞き取りがにくいですが、何度も聴いて耳を慣らしていこう。</p> <p>さて、全クラスとも聞き取れなかった赤の箇所の英語。ディクテーションを頑張ってね。来週答え合せをします。</p>
<p>●124 Soy Sauce Repeat 1 :</p> <p>1) What ズア take to make an authentic soy sauce?</p> <p>これは土曜日のクラスで、頭を抱えた文章です。耳にこう聞こえた音をカタカナで書いてみると、音源を聴かなくても修正できますね。</p>	<p>1)聞こえた音から思いつくのが "is a"ですが、これはでは意味をなしませんね。</p> <p>*What is a take to make an authentic soy sauce?</p> <p>参照「今週の訳出」610</p>
<p>●123 Japanology 3 :</p> <p>1) Pure, untreated wood is being used in the new building. と聞こえた</p> <p>これは音源を聴かなくても修正できますね。</p>	<p>1)新築の蔵では、未加工の木材 (原木)が使われている。</p> <p>A) 別に「受け身進行形」にする必要はないですね。Pure, untreated wood is used in the new building.でOK</p> <p>B) あるいは、前期から何度もぶち当たってきた例の問題：hasがisに聞こえる問題。Pure, untreated wood has been used in the new building. *beingとbeenでは発音も違いますね。</p> <p>この間違いをしたのは『[has]は[is]に聞こえる』の伝道者、講師その人でした！ あああ！恥ずかしい！</p>
<p>●122 Japanology 3 : リポート練習で</p> <p>1) ???????? secret ????? the production of~ 2) several dozen types of ?????? 3) in order to パーソン the traditional taste</p> <p>●ヒント：以下をヒントに英作する</p> <p>1)~の製造にはもう一つの秘密がある 2)それら[=微生物]の数十の種類 3)「ババロナ」の法則：パーソンと聞こえる「ソ」の部分リエゾンしていると考え、[s+o]を引き離して2語にする</p>	<p>1)There's another secret behind the production of~ 2)several dozen types of them 3)in order to pass on the traditional taste</p> <p>1)冒頭のThere'sが聞こえないことが多いと覚えておこう。 2) Yeah, we ピッキンノネムのon emの箇所でてきた[em]はthemでしたね。今回もthemとは聞こえなかった。 3)パーソンを2語にして「伝承する」と言う意味。</p> <p>●今週のポイント</p> <p>3)のパーソンで分かるように、私たちの耳はちゃんと音を捉えてくれていますね。聞こえない音はカタカナでいいから聞こえた通りに書き取ろう。これを繰り返していくと1語が2語に聞こえてくるよ。</p>
<p>●121 Japanology 2 : リポート練習で</p> <p>1)You can hear faint popping sound. 2)The soy sauce is squeezed down the moromi. 3)This is raw soy sauce ステリン process of fermentation.</p> <p>と聞こえた。右の欄を見る前に修正しましょう。</p> <p>●ヒント：以下を辞書で調べる。</p> <p>1)はsoundの用法[例文]を確認。 2)はsqueezeの用法[例文]を確認。 3)は「ババロナ」と聞こえるが、実は「ロナ」は「オナ」だったあのリエゾンの知識を応用する。</p>	<p>GENIUSによると：</p> <p>1)sound : [U/C] 以下の例文が課題と共通しています。 The animal made a squeaking sound. 2)squeeze : out / out of / fromとよく使う。downの例文はない。これも「ババロナ」のリエゾンが関与してdownの「ダ」に聞こえたが、実は[d]音は前の単語の最後の音。</p> <p>●聞こえない音は口でも言いにくい：リエゾンして言おう!</p> <p>1)You can <u>heara</u> faint popping sound. [ヒヤラ] 2)The soy sauce is squuze <u>doutof</u> the moromi.[ダウロフ] 3)This is raw soy sauce <u>stillin</u> the process of ~. 3)「イ」音は「ア」に聞こえたのが前期の教訓でした。「ア」以外にも「エ」や「ウ」に聞こえることもあります。still inが「ステリン」ではなく「ステリン」または「ステルン」と聞こえると記録しておきましょう。</p>